

旧福岡県立山田高等学校解体工事 の進捗状況等について

令和4年6月15日

地域活性推進課

1 校舎解体工事の完了について

令和3年2月から福岡県により実施されていた旧山田高等学校の解体工事に関し、予定されていた構造物はすべて解体、撤去され工事が完了した旨、報告があった。

【凡例】

- 管理教室棟解体範囲
- プール棟解体範囲
- 既解体範囲
- 工事車両ルート
- 交通誘導員 (大型車両通行時)

《プール棟》
(解体前)

《体育館棟》
(解体前)

《管理教室棟》
(解体前)

《特別教室棟》
(解体前)

校舎部分解体工事完了後の状況

- 1 -

「広報嘉麻3月号」に山田高等学校跡地に関するこれまでの経過と今後の対応について記事を掲載した。

《掲載内容》

○これまでの経過

- ・嘉麻赤十字病院の建替え移転先として検討が進められていたが、病院の移転断念により利活用がスタート地点に戻ったこと。
- ・利活用を進めるため嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用推進協議会により協議を行い、嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用推進基本計画を策定したこと。
- ・基本計画を基に交渉を進め、福岡県の負担により解体工事が実施されていること。

○今後の対応

- ・現状県有地となっていることから、嘉麻市が利活用を行うにあたっては用地取得を行う必要があること。
- ・用地取得の目途が立った段階で、利活用に係る具体的な事業計画を策定していくこと。

福岡県による 旧山田高等学校校舎等の解体工事が進んでいます。

令和3年2月から福岡県発注の山田高校校舎の解体工事が実施され、本年3月末に終了する予定となっています。これまで閉校後、老朽化した校舎や生い茂った樹木がそのままになっており、市民から災害や事故等に対して心配の声も受けていましたが、現在では福岡県により多くの部分が解体されている状態になっています。

山田高校跡地に関するこれまでの経過

平成19年3月に山田高等学校が閉校となってから、福岡県による山田高校跡地の解体工事に至るまでの経過をお知らせします。

閉校以来、平成20年から嘉麻赤十字病院の移転・建替え用地としての活用に関し、用地の所有者である福岡県と検討が進められていました。しかし、平成29年2月に嘉麻赤十字病院が建替え移転を断念されたことにより、跡地利活用にについてはスタート地点に戻る形となりました。

このままでは、さらに何年にもわたって利活用されない状況が続くことも危惧されたことから、再度、嘉麻市と県に対し、山田高校跡地の利活用を検討するようお願いしたところですが、今後の利活用方法の方向性を示すよう県から嘉麻市に要請があったため、利活用に関する検討を開始することとしました。

跡地利活用の再検討を行うにあたり、有識者、行政区長や山田高等学校同窓会の代表、公募委員等からなる「嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用推進協議会」を設置し検討を進めました。平成30年2月から7回にわたる協議の後、平成30年10月に協議会から管申いただきました。

この管申を受け、市や敷地周辺の状況を踏まえながら、平成31年3月に山田高等学校跡地の利活用に関する基本的な方向性を定めた「嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用推進基本計画」を策定しました。

この計画をもとに福岡県との協議を行い、嘉麻市から費用負担をすることなく、全て県の負担において解体工事が現在行われています。

平成19年3月	山田高等学校閉校	平成30年10月	嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用推進協議会管申
平成19年11月	県立高校跡地等利用庁内検討委員会設置	平成31年3月	校舎敷地管付部分の返還要請(校舎解体を含む)
平成20年3月	嘉麻赤十字病院との移転等に係る協議開始	平成31年3月	嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用推進基本計画策定
平成21年5月～9月	嘉麻赤十字病院の充実と旧山田高等学校跡地の医療的活用に関する請願書(採択)	令和3年2月	山田高等学校校舎解体工事開始
平成24年11月	嘉麻赤十字病院の建替え存続を求める要請書	令和3年	山田高等学校跡地用地取得協議開始
平成29年2月	嘉麻赤十字病院から移転断念の報告	令和4年～	山田高等学校跡地用地取得協議及び具体的な整備計画等の策定(予定)
平成29年6月	嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」整備検討委員会設置(庁内)		
平成30年2月	嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用推進協議会設置		

山田高校跡地の利活用に関する今後の対応

山田高等学校跡地については、嘉麻市(旧山田町)が寄附を行った土地や県が独自に取得した土地などが複雑に組み合っており、現状では福岡県所有の学校用地となっています。嘉麻市が利活用を行うにあたっては、この用地を県から取得する必要があり、過去の経過等を踏まえ、福岡県と用地の取得に向けた協議を行っているところです。この用地に関する協議の目途が立った段階で、利活用に係るより具体的な事業計画を策定することとしております。



R4.3月号 広報嘉麻 00

今後も、進捗状況については、総務財政委員会において報告を行うとともに、市民への周知を図っていきたいと考えている。

3 福岡県との用地取得に関する協議について

校舎解体工事完了に伴い、福岡県教育庁施設課及び財産活用課と用地取得に係る協議を開始。

市は、校舎等の解体工事と合わせて要請していた寄付用地返還に関し、先行して協議を進めていきたい考えであるが、県は、県が独自に取得した校舎敷地の一部及びグラウンド部分を含む山田高等学校跡地全体を一括で処分したい意向がある。

今回の協議において、県は、市が提示する寄付用地返還の先行協議に係る考え方を踏まえ、県内部で協議・検討を行い、今後の協議の進め方について方向性を整理したいとのことであった。

次回の協議は、県の方向性の整理がついた後に、実施する予定となっている。

